



西中だより

令和5年5月26日（金） 第2号

鹿児島市立西紫原中学校
学 校 だ よ り

【教育目標】 自らの可能性を信じ、努力することのできる生徒を育成する。
【一学校一改善】 ○探究学習の工夫・充実 ○サポートルームの開設・運営

一学期の中盤 6月

初夏の候、日頃から西紫原中学校の保護者の皆様、地域の皆様には、御支援、御協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、令和5年度が始まり、2ヵ月が過ぎようとしています。新型コロナウイルス感染症も第5類感染症へと移行され、学校においても、基本的な感染症対策を講じつつも、マスクの着用は求めないことが基本となり、各種行事や活動においても、戻せるものは、元の形に戻しつつあるところです。

ところで、1年生は当然かもしれませんが、2・3年生も学級が変わり、これまでとは環境が異なっています。この2ヵ月で仲間との関係が変わったり、難しくなったりしてしまう面も見られるかもしれません。

また、学習面では、どうでしょうか。不安のある人もいるかもしれません。そのような時には遠慮せず先生方に相談してください。子どもは時に悩み、失敗もし、成長していきます。大切なことは、その思いに気付き、耳を傾け、寄り添うことです。子どもを励まし相談にのり、問題の解決に向けてお互い取り組んでいきましょう。



一学校一改善（探究学習の工夫・充実 サポートルームの開設・運営）

本校では、令和5年度の「一学校一改善」として、次の2点に取り組めます。

○ 探究学習の工夫・充実

2年生の2学期以降の「総合的な学習の時間」で、生徒が、地元企業と共に、自分たちの暮らす地域の新しい可能性を発見し、その地域をよりよくするためのイノベーションを起こしていく探究活動に取り組めます。

地域に実在する企業や「まち」そのものと出会い、そこで生活する人々の取組や技術、自分たちとのつながりを知る中で、地域に秘められた可能性を発見したり、自分が住む地域のリソース（資源）と企業の強みとの組み合わせを主体的に考え、新たな魅力や価値の創出に挑戦したりします。

○ サポートルームの開設・運営

サポートルームは、学校には行きたいが、今は教室に入れそうにない生徒、学習は進めたいが、多い人数の中で活動することが苦手と感じている生徒が、自分が頑張りたいことを取り組みやすいように支援・応援する部屋（旧パソコン室）です。担当の職員ができるだけ多くの時間、サポートをします。詳しくは、学校へご相談ください。